

# 慈しみ、力強く育てた 楮が美しく変わる。



上川崎和紙の原料は楮(コウゾ)である。楮紙は平安時代から“まゆみがみ”として宮廷でも珍重されていた。カジ、カソなどとも呼ばれるが、上川崎ではコウス、カスと呼ぶ。他にミツマタや雁皮(ガンビ)なども和紙の原料となる。

## 楮栽培◎



楮は寒さにも強いいため、福島的气候に適している。繊維が長く、長いので丈夫な紙が作られる。春には淡い黄緑色の花を付ける。

## 原木刈り取り◎



原木の刈り取りは、葉のすつかり落ちた十二月から一月の寒い時期に行われる。鎌で斜めに切り落とし枝を採る。